

事例 No.	52	人口規模	5万人以上	地域ブロック	近畿	事業タイプ	体験	事業主体	地方公共団体
事業名	親子たんとん郡高広場								
実施地方公共団体名	大和郡山市(奈良県)								
特徴・ポイント	地域の在宅の親子の孤立防止や育児不安、負担感、憂鬱感の軽減を図るために地域全体での子育て支援を推進する「つどいの広場」事業の趣旨に加え、高等学校の施設内で開催することにより、次代の親となる高校生が乳幼児とふれあい、子育ての楽しさや意義を学ぶ機会を提供することにより、将来の子育てに対する不安感を取り除き、次代の親を育成することを目指す。								
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 子育て支援事業の内、「つどいの広場」事業の趣旨に加え、高校生の時期に子供とふれあうことにより、子どもを育てることの楽しさや喜びを感じさせ、また、異世代の高校生と地域の親子の交流の場を設けることにより少子化対策に大きな成果を期待する。</p> <p>【内容】 開設場所:奈良県立郡山高校校友会館 96㎡ 開設日時:毎週水曜日 10:30~16:00 参加費用:無料 開催内容:子育て親子、高校生との相互交流、集いの場の提供。 高校家庭クラブ主催による料理教室等。</p>								
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	<p>当市における子育て支援事業の施策として、たんとん広場(つどいの広場)を地域毎の開設を目指す中で、子育て家庭のニーズに応えるべく、世代間交流、周辺地域の当該事業開設日の補完及び次代の親育成の新たな展開を目指し開設した。</p>				導入・実施に際して苦労した点				
事業の効果	<p>平成18年6月に開設以来、平均で親子10組、高校生は10人程度の来場があり、子どもと高校生の交流が活発に行われ、高校生と乳幼児共に最初はふれあい方にとまどい等が見られたが、次第に積極的に遊び、ふれあいを深めてきている。</p>				実施にあたってのネックをどのように解決したか				
事業のアピールをどのように行なったか	<p>チラシの作成、市定例記者会見時の新聞、テレビ等報道機関へのアピール、他の実施場所での親子への呼びかけ等</p>				<p>親子と高校生の交流の時間が、高校生の昼休みの昼食後、2~30分程度に限られてしまう 地域の親子を対象に高校の家庭クラブ主催の料理講習会等を定期的に行ない、1~2時間の開催時間にふれあいを深めている。</p>				
必要な協力先・実施主体とその確保策	<p>(必要な協力先) 地域の子育て支援に関する自主活動団体</p> <p>(確保策) スタッフの確保</p>				<p>来場者の駐車場が確保できない 車での上場禁止の周知、徹底</p>				